



よく学び力につける子 友達となかよくできる子 はつらつと体をきたえる子

令和7年度



# とよはる

みんな友達 豊かな心 あふれる意欲

<https://schit.net/kasukabe/estoyoharu/>

毎日情報更新。ぜひご覧下さい。

豊春小学校



春日部市立豊春小学校

学校だより9月

児童数 513人

春日部市道順川戸 37-1

令和7年9月1日



## 夏休みの宿題とAI活用に関する一考察 —子どもの思考力を育むために—

校長 今木敏浩

長い夏休みも終わり、こどもたちの元気な笑顔が戻ってきました。今年の夏休みはいかがだったでしょうか。ドリルのように毎日取り組める宿題は早めに終わらせて、読書感想文や自由研究などはつい後回しになってしまった、というお子さんも少なくなかったのではないでしょうか。

あるテレビ番組を見ていたら、「パーキンソンの法則」について紹介していました。「人は与えられた時間いっぱいで仕事を広げてしまう」という考え方で、夏休みの宿題はその典型例。1週間ほどで終わる分量でも、40日間あると思うと「まだ大丈夫」と先延ばしし、最後にまとめて取り組む—そんな経験は誰しもあるかもしれません。

私はこの夏、AI活用に関する研修に参加しました。その中で小学生のこどもをもつ親御さんが「読書感想文の宿題はこどもだけでなく親にとっても負担です。そこで、こどもが中身のある感想文を書けるようAIにどのような言葉を掛けばいいかアドバイスをもらいました。」と話していました。

株式会社 DeltaX の調査結果によると、小学生の読書感想文において 65% の保

護者が手伝っており、最も多いのは誤字脱字のチェック(58.5%)、次いで構成アドバイス(49.2%)、感想や意見を引き出すための質問アドバイス(49.2%)でした。一方で AI の利用には 65% が抵抗感を示しているという結果も出ていますとのことでした。

学習における AI の活用は年々広がっていますが、大切なのは「答えをすぐに求める」のではなく、子どもの思考を深めるきっかけとして使うことです。中央教育審議会でも次期学習指導要領に向け、情報活用能力の育成を強化し、自ら探究を進める力を育てる必要性が提言されています。現在、その流れの中で「答えを教えない AI」の模索が始まっています。

私自身、始業式では AI 研修で得た学びを生かし、こどもたちへのメッセージをデジタル絵本にして届けました。これからは教員一人一人が AI を正しく使いこなす力を高め、その力を子どもの成長へつなげていくことが求められます。2学期も、こどもたちが自ら考え学ぶ姿を大切にしながら、AI との新しい関わり方を学校全体で模索してまいります。

## 7月の教育活動より



### 5年生 林間学校



7月24日(木)、25日(金)に5年生が、新潟県湯沢方面に林間学校に行きました。今年の猛暑で、標高が高くて暑かったですが、ハイキング等を自分のペースでやり切りました。疲れたようですが、ゴールした時には、爽やかな笑顔の児童が多かったです。

### 水泳学習 無事終了



7月17日(木)を持ちまして、児童の事故なく、水泳学習を終えました。「暑いからプールに入る」ではなく、「暑いとプールに入れないと」という、常に暑さ指数とにらめっこしての水泳学習でした。何はともあれ、児童の笑顔がたくさん見られたので良かったです。

### 特別支援学級ってどんなところ？

特別支援学級とは、学校での授業場面や友だちとの活動場面などで、自分の力だけでは解決できない課題（教育的ニーズ）を抱えて困っている子どもたちが、上限8人までの少人数で、それぞれのニーズに合わせた支援を受けながら生活していく学級です。本校では、課題に応じて、知的障がいと自閉症・情緒障がいの学級が全部で6学級あり、さくら学級と呼んでいます。



では、どんな活動をしているのでしょうか。

1日の生活の流れは、通常の学級と全く同じです。子どもの実態から、社会生活を営むために必要な内容を教育するという基本的な考えは同じです。学習内容は、一人一人のニーズに合わせてカリキュラムを組んでいきます。

- ① 基礎的な学習
- ② 技能系の学習
- ③ 学習生活習慣
- ④ 社会性やルールの理解
- ⑤ コミュニケーション
- ⑥ 行動や感情のコントロール

(例)『小中交流会』ではこんな学習を  
高学年はグループリーダー  
校外を歩くルールとマナー  
感想文やお礼状を作ろう  
勝敗も楽しもう  
他校の友だちとの交流を楽しもう

など特徴や特性に合わせていきます。苦手や困難さの特徴だけではなく、得意な面や今後伸ばせる可能性がある行動の特徴も見つけていきます。また、日々保護者の皆様とも情報交換を行っています。

そのために、教科学習のほかに日常生活の指導、遊びの指導、生活単元学習、自立活動、教科を横断的に行う学習などもあります。また、一人一人の実態に応じて通常の学級と一緒に学習することもあります。